

## 県南部を中心に果樹カメムシ類によるなしの被害果が多く確認 りんご、なしの被害に注意しましょう！

- ・作物名：りんご、なし
- ・病害虫名：果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ)
- ・対象地域：県内全域
- ・予想発生量：多

巡回調査：7月19～21日

天候予報：仙台管区气象台7月28日発表

### 1 予報の根拠

- (1) 巡回調査の結果、県南部のなしほ場において果樹カメムシ類による被害果が確認された。発生地点率は27.3%(平年1.1%)、被害果率は0.4%(平年0.0%)でともに過去9か年で最も高かった(図1)。( /+)
- (2) 果樹カメムシ類の活動には高温が好適であり、向こう1か月の平均気温は高いと予報されている。( /+)

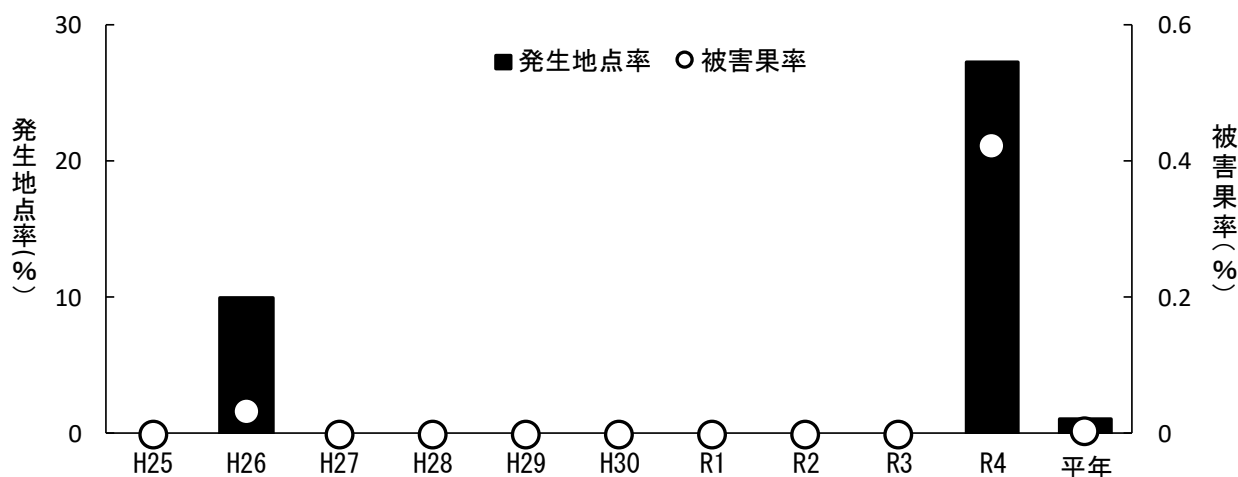
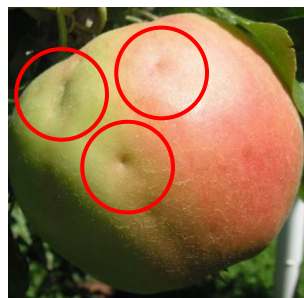


図1 果樹カメムシ類による被害果の発生地点率及び被害果率  
(病害虫防除所 7月中旬調査(なしほ場) 平年:9か年平均)



クサギカメムシ    チャバネアオカメムシ

写真1 県内における主要果樹カメムシ類



りんご



なし

写真2 果樹カメムシ類による被害果  
・吸汁された果実は窪み、加害部(写真○部)の下の果肉が白くスポンジ状になり品質が著しく低下する。

## 2 防除のポイント

- (1) 果樹カメムシ類はりんご、なし以外の果実も加害するので注意する。
- (2) 山林、特にスギやヒノキ林に近接するほ場では、被害を受けやすいので注意する。
- (3) 今後、越冬世代成虫に加えて新成虫が発生し、密度が高まる時期となる。果樹カメムシ類は移動性が高く、飛来数はほ場間差が大きいいため、ほ場をこまめに見回り、成虫や被害果が確認された場合は速やかに薬剤防除を行う。
- (4) 薬剤散布は、果樹カメムシ類の活動が鈍い早朝に行うと効果的である。
- (5) 有袋栽培では、果実の肥大によって袋に密着すると袋の上から吸汁されることがあるので注意する。
- (6) 薬剤については、『令和4年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』を参考に選定する(表1, 2)。また、薬剤の使用に当たっては、最新の農薬登録情報を確認する。

※『令和4年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/miyagi>

※農林水産省の農薬登録情報提供システム

<https://pesticide.maff.go.jp/>

表1 りんごのカメムシ類で登録のある薬剤

(『令和4年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』より)

IRACコード	薬剤名
1B	サイアノックス水和剤, スプラサイド水和剤, スミチオン水和剤40
2B	キラップフロアブル
3A	MR.ジョーカー水和剤, スカウトフロアブル, テルスターフロアブル
4A	アクタラ顆粒水溶剤, アルバリン顆粒水溶剤, スタークル顆粒水溶剤, ダントツ水溶剤, バリアード顆粒水和剤, モスピラン顆粒水溶剤
28	テッパン液剤

表2 なしのカメムシ類で登録のある薬剤

(『令和4年度宮城県農作物病害虫・雑草防除指針』より)

IRACコード	薬剤名
1B	スミチオン乳剤, スミチオン水和剤40
3A	テルスター水和剤, サイハロン水和剤
4A	アドマイヤー水和剤, アドマイヤー顆粒水和剤, アルバリン顆粒水溶剤, スタークル顆粒水溶剤, モスピラン顆粒水溶剤
28	テッパン液剤

※令和4年7月20日現在の登録内容  
(IRACコードは、殺虫剤の作用機構分類を表す)

※令和4年7月20日現在の登録内容  
(IRACコードは、殺虫剤の作用機構分類を表す)

《お問い合わせ先》

宮城県病害虫防除所

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17

TEL:022-275-8982 FAX:022-276-0429

E-mail: [byogai@pref.miyagi.lg.jp](mailto:byogai@pref.miyagi.lg.jp)

★宮城県病害虫防除所から『メルマガ』配信中★



宮城県病害虫防除所  
トップページ



メルマガ  
登録フォーム

**農薬危害防止運動実施中！(6月1日～8月31日まで)**